

## 入学式式辞

本日ここに、このように多くの新入生をお迎えできたことを、心より嬉しく思います。おめでとうございます。

皆さんは晴れて大学生となられたわけですが、これからの学生生活に対して期待と不安の両面をもたれていることと思います。新型コロナウイルスの蔓延という事態が、学生生活への不安をさらに強めていることでしょう。コロナ禍は、私達の生活に様々な困難をもたらしてきました。中でももっとも大きな困難の一つは、人と人との交流が強く制約されてきたことです。自由に人に会いに行けない、話ができないことがいかに苦しいことか、できなくなって初めてわかったという人も少なくないことでしょう。

このことは裏を返して言えば、人間という者は他者と共に生きている動物であるということです。共に生きていても、喧嘩している時は悲しいですね。いまウクライナで起きているような戦争は、その中でも最悪の非人間的な事態です。

共に生きていることの幸せを実感できるのは、とくに他者と共感しあえた時でしょう。地震等の災害があった時、ボランティアで復興支援に向かうのは、被災者を助け、そのことにより喜んでもらえることに何よりも幸せを感じるからです。他者の不幸を自分自身の不幸として共有することで不幸は半分になり、共に喜ぶことで幸せは2倍になります。

この共に生きるということが、コロナ禍で大きな制約を受けています。大学の授業もオンライン授業が多くなり、学生同士及び教職員と学生の交流は非常に限られたものとなりました。クラブ活動・サークル活動も、交流という点で非常に有意義なものですが、この間度々中断に追い込まれ、困難を極めてきました。みなさんも過去二年間少なからず「共に生きること」を制約されてきたことと思います。制約の中で、その大切さに気付いたからこそ、これからの大学生活においては、共に生きることを意識し、実践して行ってほしいと思います。

さて、皆さんは観光大学に入学されました。ということは、一言で言うと、これから何をおいても観光について学ぶということになります。観光という言葉でまずイメージするは、その土地のおいしい料理を食べたり、名所旧跡を訪れたりすることでしょう。あるいは、陶芸品を作ったりイチゴ狩りをするといった体験もあるでしょう。多くの場合、こうした活動は誰かと共に行ってこそ楽しいものであり、あるいは一人旅の場合も含めて新たな出会いを楽しむことも加わります。つまり、人と人との交流は、観光の手段であるとともに目的でもあり得ます。しかも、それは日常世界と異なる空間で実現する、特別な期待の中での交流です。その意味で、観光は交流の王様であり、観光と交流は切っても切れない関係にあると言えます。

ところで、本学では、これまで観光学部と国際交流学部を別々の独立した学部として運営してきました。したがって、ここにいる新入生の皆さんも両方の学部に所属しています。しかし、先ほど申し上げたような観光と交流との不可分な関係に鑑み、皆さんの次の学年からは一つの学部において両方の要素の統一的な運営を実現していく予定です。しかし、このよ

うに、学部組織を段階的に改組していくことによって、新入生の皆さんを含めて在学生の全体が不利益を受けることなく、逆にそのメリットを十分に享受できる体勢を取っていきますので、これからの学びの新しい発展に是非ともご期待ください。

さて、観光大学に入学された皆さんは、以上申し上げてきたような人間的交流について学びます。したがってまたその限りで、皆さんは幸せとは何かについて学ぶこととなります。私達大阪観光大学が目指しているのは、まずは大学キャンパスを特別な出会いと交流の場としたいということです。このことは、次の特色を生かすことで実現していきます。

第一に、大阪観光大学は、1 学年 200 名程度の比較的小規模な大学です。このことによって、少人数教育を実現するとともに、多様な交流の場を拡充していきたいと考えています。教職員との距離も近いし、学生同士もお互いに顔が見えるような交流の場の創出です。

第二に、少人数教育という環境を生かしつつ交流を充実させるため、コロナ禍の影響の下のでも、できるだけ対面型の授業やクラブ活動等を実現できるように努力します。

第三に、壇上に並ぶたくさんの旗が示すように、大阪観光大学には海外からの多数の留学生が集まっています。このことは、キャンパスに居ながら国際的な交流を実現できる環境にあることを示しています。異なる言語・文化の人たちとの交流を通じて、是非とも国際的な感覚を身につけてください。ちなみに、2 月 8 日に行った入学前セミナーでは、ベートーベンが使ったシラーの詩「喜びの歌」を紹介しました。そこでは、「Was die Mode streng geteilt; 我等を引き裂いた厳しい時代の波」を超えて、「Alle Menschen werden Brüder すべての人々は兄弟となる」と高らかに謳われています。世界情勢は緊迫した局面を迎えていますが、観光大学のキャンパスにおいて、まずは皆さんと私達が兄弟となれるような交流を実現していきましょう。

大学に行く毎日が楽しいと感じる学生生活を送ること、4 年後には大学生活が楽しかったと心から実感しつつ新たな知識と教養を備えた市民・職業人として本学を巣立っていくこと、何よりもこのことを支援することが本学の基本的な教育理念です。教職員一同そのために全力を尽くす決意です。共に楽しい大学を作っていきましょう。

2022 年 4 月 1 日

大阪観光大学学長 山田良治